

ノーモサング®点滴静注投与時の溢出リスク管理に関するガイドンス

監修：社会医療法人 松柏会 至誠堂総合病院
健康増進センター長 大門 眞

【溢出リスクの高い患者】

- － 肘前窩あるいは関節腔上への挿管時
- － 高齢者では下記理由から溢出のリスクが高まる
 - ・患者が錯乱・激越している際の挿管による損傷
 - ・痛覚が低下している
 - ・皮膚・静脈が脆弱である
- － 意識のない患者、鎮静状態の患者、錯乱状態の患者
- － 知覚機能が低下または血行不良の患者
- － 挿管の固定が不十分な患者
- － 挿管部位と周辺組織が見えにくくしてある場合
- － 中心静脈（CVAD）使用時：溢出の診断が遅れる

ポルフィリン症患者は下記理由によりさらなる溢出のリスクを有する可能性がある

- － 脆弱で可動性のある静脈のため挿管が難しい
- － 前治療による反復性の静脈穿刺や挿管部分がある

【溢出の管理】

重要なのは早期発見することで、それによりダメージを最小限に抑えることができます

施術者は、血管が破損するとすぐに生じるかもしれない以下の徴候・症状が溢出の可能性のある挿管部位・中心静脈施術部位及びその周辺組織にないか常に観察する必要があります

- － 皮膚色の変化（濃茶色・黒色 ⇒ 緑・黄色 ⇒ 時間が経つと完全に消える）
- － 感覚や痛みの変化
- － 輸液速度の変化（例えば 輸液速度の減速）
- － 挿管部位・静脈経路に沿っての腫れ
- － 硬結
- － 紅斑
- － 静脈変色あるいは白色化
- － 血液の逆流
- － 静脈内薬物注入時の抵抗増加
- － 炎症または水疱

CVC デバイス

- － 肩/首の痛みによる不快感（これは最も一般的）
- － 疼痛、灼熱感、痛みによる不快感、胸壁の腫脹
- － 挿管部位・挿管部位周辺の皮下での漏出

溢出が疑われる場合の治療は、できるだけ早く開始する必要があります

早期発見と 24 時間以内に治療を開始することで大幅に組織への損傷を減らすことができます

【溢出時の応急処置】

末梢投与時

- ① 点滴をただちに中止してください
針は取り外さないでください
点滴セット上のシリンジを取り外してください
- ② 異常を感じたとき、患者に対処方法を説明してください
- ③ 針を残したまま、10ml 容量のシリンジを用いて血液がシリンジの中に入ってくるまで薬液を吸引してください
- ④ 消えないペンを用いて、患部をマークしてください
- ⑤ 挿管を外してください
- ⑥ 溢出している箇所を直接手で押さえないでください
- ⑦ 患部に乾いたガーゼを置いてください
- ⑧ 患部に冷湿布を貼付し 20～30 分間置いてください
冷湿布を動かないように固定してください。ただし、締め付けしないでください
- ⑨ 1日4回 冷湿布の処置を繰り返し、この処置を1日～2日間行ってください
- ⑩ 局所炎症がみられた場合は、1%ハイドロコルチゾンクリームをご使用ください
- ⑪ 必要に応じて、鎮痛剤を処方してください
- ⑫ 2日間は手足を動かしたり挙上したりするよう患者に指導してください
- ⑬ 患者と次回の診察日（外来・入院）を決め、カルテに記載しておいてください

中心静脈アクセスデバイス使用時

- ① 点滴をただちに中止してください
中心静脈ライン〔末梢型（PICC・留置ポートも含め）〕を取り外さないでください
点滴セット上のシリンジを取り外してください
- ② 異常を感じたとき、患者に対処方法を説明してください
- ③ CVAD を残したまま、10ml 容量のシリンジを用いて血液がシリンジの中に入ってくるまで薬液を吸引してください
- ④ 消えないペンを用いて、患部をマークしてください
- ⑤ 溢出している箇所を直接手で押さえないでください
- ⑥ 患部に乾いたガーゼを置いてください
- ⑦ 患部に冷湿布を貼付し 20～30 分間置いてください
冷湿布を動かないように固定してください。ただし、締め付けしないでください
- ⑧ 1日4回 冷湿布の処置を繰り返し、この処置を1～2日間行ってください
- ⑨ 局所炎症がみられた場合は、1%ハイドロコルチゾンクリームをご使用ください
- ⑩ 必要に応じて、鎮痛剤を処方してください
- ⑪ ラインを取り外すための処置をしてください
- ⑫ 2日間は手足を動かしたり挙上したりするよう患者に指導してください
- ⑬ 患者と次回の診察日（外来・入院）を決め、カルテに記載しておいてください
CVAD で溢出したすべての患者は、フォローとして 2 日以内に患部を診察してもらうために再度受診していただく必要があります

出典：Guidance for Health Care Professionals on the risks associated to Normosang® administration (thrombosis, extravasation and necrosis) and the precautions to take in order to avoid them P1, P3, P4 より抜粋

[資料請求・お問い合わせ先]

株式会社 オーフアンパシフィック DIセンター

〒105-0023 東京都港区芝浦1-1-1

TEL 0120-889-009 受付時間 9:00～17:30(土・日・祝日・年末年始を除く)

2025年1月改訂
NOR9001op(A)